



日小増一后寒をか
 へき折うら御館
 皆様はは様様
 うるけと波あな
 河事と目出夜
 そくしよあせ
 殊は去度の國のた
 河勇ましとあな
 波下をよとあな
 陣はは娘がぬ一層の
 日光をよかへと
 河事あなとあな
 中よまのあせ
 出京中、系上

是事ある所と云
中二まゐるせむ
出京中二系之
種々深切と云に
願ひ其の事
是事ある所と云
祥見まゐる所
禮六日頃乃
け其事と何
は娘と云ふ所
中二まゐるせむ
と又何より
真恵之禮下是又
は禮中二まゐる
陽縣城に職負生徒
其外皆は祥見
はまゐる所と云

阿具の轉寫は

其の皆の祥是

いそぎをたまた

歌のこころは

是の事のはたは

なれ佐賀の草

ま目とまはし

わが皆のちを

岩地の草と

と蹴蹴と何

改良の模様

師来佐の

とよ新こ

引込ませ

校指をひ

女子部寮宿舎建

大隈伯爵様
後、拓き、一、當校
女子部、寮、宿舍、建
築、業、も、い、ま、く、当、年
の、縣、會、よ、出、さ、し、ま
す、ゆ、え、に、お、ま、り、す、る
事、通、じ、お、な、さ、さ
ら、せ、ま、さ、す、事、業、に
拓、き、業、に、お、ま、り、す、る
拓、き、業、に、お、ま、り、す、る
大、延、引、何、ま、度、さ
す、こ、ろ、お、ま、り、す、る
と、お、願、い、さ、す、る
也、

十月二十六日

川崎勇

大隈伯爵様

御主人様

ご許より

行く時候よりなほりあま

やうにおおりの程も

祈りこころあまを早稲

田は郷の神のま景を

一とるのさむきと

かゝる三百里を

ご想像の中は先日

糸のよ暇の中は

とりのそまを

ご執事の所を

つげ返す

忍びよる

長瀬川 田中

ついでに

お返し

お目出度

お別封

ろくろ

お披露

お返し

お返し

十月廿三日 川崎 勇

大隈伯爵様

執事 田中



執事 御中

東京牛込早稲田
大隈伯爵



ノ



佐賀縣尋常師範學校女子部

川崎 勇